



はばたけ 植北！ 学校評価特別号

名古屋市立植田北小学校

学校評価の結果と改善点をお知らせします

本校の教育活動を振り返り、成果や問題点を明らかにし、改善を図ることを目的として、学校評価を実施しました。保護者のみなさまにはアンケートにご協力をいただき、ありがとうございました。ここに、結果をお伝えするとともに、今後改善すべき点を明らかにして、よりよい教育活動を進めていきます。

評価結果の見方について

教職員の自己評価、保護者アンケート、児童アンケートを比較・検討しました。

- ① A（よくあてはまる）を4点、B（だいたいあてはまる）を3点、C（あまりあてはまらない）を2点、D（まったくあてはまらない）を1点として計算・平均化しました。
- ② 平均点が3.2点（80%）を超えればおおむね満足とし、◎の判定を、3点未満のものについては、対策が必要であると考え、△の判定をしました。
※お子さんたち自身の評価は高く出る傾向があるため、平均点が3.4点を超えればおおむね満足とし、◎の判定を、3.2点未満のものについては、△の判定をしました
- ③ 簡単な分析や今後の課題とすべきことを、ゴシック体で記述しました。今後の改善に生かしていきたいと考えています。

アンケート1 学校努力点「自分がしたいことは、これだ！」に関する取り組み

評価指標			平均点	判定
①	教職員	子どもが、学びの過程で、自己選択、自己決定できるよう、指導を工夫した。	3.4	◎
	保護者	子どもは、学びの過程で自分が選んだり、自分で決めたりするように取り組んでいる。	3.5	◎
	児童	わたしは、学びの過程で、自分で選んだり、自分で決めたりしながら、活動することができた。	3.5	◎
	全て◎の判定になりました。昨年度に比べて、授業の中でお子さんが自己選択、自己決定できる場面を多くつくるように心がけています。また、自己選択、自己決定の中で学びが深まることが期待されます。さらに、自己選択、自己決定の中では、自分に合ったペース、自分に合った学習方法をとることができます。これからも工夫をしていこうと思います。			 【タブレットを選び学習する様子】
②	教職員	子どもが、課題解決のために、学習を計画したり、計画を見直したりするように、指導を工夫した。	3.2	◎
	保護者	子どもは、課題解決のために、学習を計画したり、計画を見直したりするように取り組んでいる。	3.3	◎
	児童	わたしは、学習を自分で計画したり、計画を見直したりして勉強を進めることができた。	3.3	○

	保護者の方で「◎」の判定となりました。本校は、「ナゴヤ学びのコンパス」の考え方に基づいて、児童同士が意見交換したり、発表したりする時間を十分に確保して学習していきます。一斉に行う場面もありますが、1対1やグループで行うと、自分の意見を言う場面が増えると考えます。一方、基礎学力の不足という課題もあります。基礎学力の定着のために、基礎基本の学習を学校全体で行っていきます。			【一緒に勉強する様子】
アンケート4 生活について				
	評 価 指 標		平均点	判定
	教職員	子どもにとって「楽しい学校」となるように、指導を工夫した。	3. 2	◎
	保護者	子どもは「学校へ行くのが楽しい」と言っている。	3. 3	◎
	児 童	学校は楽しい。	3. 6	◎
⑥	教職員、保護者、児童ですべて「◎」の判定となりました。これは昨年度に続きで、児童の平均点は若干上昇しています。その中で、行事についてのご意見もいただきました。			
	昨年度もお伝えしましたが、行事に関しては「昨年やっていたから」や「他の学校もやっているから」という観点ではなく、「教科」学習との整合性や、お子さんに付けたい「資質・能力」を考えて設定をしています。ご理解が得られるようにお伝えするとともに、行事を通じてもお子さんの「資質・能力」を伸ばしていきたいようにします。また、学習において「様々な方とふれ合う」ということも重視されています。他学年や、地域の方との連携も深めてまいります。			
⑦	教職員	子どもが、よりよく生活するために、様々な場面できまりを守ったり、適切に判断したりできるよう指導した。	3. 5	◎
	保護者	学校は、子どもが、よりよく生活できるよう、様々な場面できまりを守ったり、適切に判断したりできるように指導している。	3. 4	◎
	児 童	わたしは、よりよく生活できるように、きまりを守ったり、考えたりしながら行動している。	3. 3	○
	教職員と保護者で◎となりました。一方、児童からも教職員からも「廊下を走る児童」がいるとの意見が上がっています。廊下を走ることは危険です。決まりとしてはありますが、児童が自治的な取り組みで廊下を走る児童が減少するような仕組みを検討しています。			
アンケート5 健康・安全について				
	評 価 指 標		平均点	判定
	教職員	安全に関わる指導（交通安全・防犯・防災など）を適切に行った。	3. 4	◎
	保護者	学校は、安全に関わる指導（交通安全・防犯・防災など）を適切に行っている。	3. 5	◎
	児 童	わたしは、安全に関わる行事（交通安全・防犯・防災など）に真剣に取り組んだ。	3. 6	◎
⑧	教職員、保護者、児童ですべて「◎」の判定となりました。これは昨年度に続きで、学校では「万が一」に備え、避難訓練や防犯訓練、朝会、行事等の折に安全に関わる指導を行っています。「命を守る大切な取り組み」として、子どもたちも真剣に取り組み、充実した訓練を行いました。			
	また、名古屋市の防災備蓄物資の有効活用で、非常物資を2回配布させていただきました。その折にも、防災についてお話をいただいています。ご家庭でも話題にしていきたいと思います。			
	【交通安全教室の様子】			

	教職員	子どもの体に異常があった場合、連絡や処置を適切に行った。	3. 5	◎
	保護者	学校は、子どもの心身に異常があった場合、連絡や処置を適切に行っている。	3. 5	◎
⑨	教職員、保護者とも「◎」の判定となりました。本校では新型コロナウイルス感染症、インフルエンザの爆発もありませんでした。ここからはお願いですが、お子さんが発熱やけがをした場合に保護者の方に連絡をさせていただき、相談させていただいています。しかし、連絡先が複数書いていない場合、連絡が取れなくて大変困ることがあります。今年度、緊急で7月の個人懇談で追記をさせていただきました。工作中などの状況では携帯（スマホ）に出られない状況もあるかと思います。何らかの方法でつながる連絡先を児童個票にご記載ください。また、連絡先が変わりましたら、速やかにお知らせください。			
⑩	教職員	感染症を含む「病気の予防」についての対応を適切に行った。	3. 3	◎
	保護者	学校は、感染症を含む「病気の予防」についての対応を適切に行っている。	3. 4	◎
	児童	わたしは「病気の予防」に心がけて生活することができた。	3. 2	○
今年度は学級閉鎖、学年閉鎖などは非常に少なかったです。これは、保護者の方のご協力によるものであると考えています。ありがとうございます。しかし、児童の基本的な手洗いなどが不足していると、児童自身から上がりました。これからも、健康に関する指導を行っていきます。				
アンケート6 運営について				
評価指標			平均点	判定
⑪	教職員	「SOSノート」や「学校生活アンケート」などを活用し、子どもの悩みやトラブルの未然防止に取り組んだ。	3. 3	◎
	保護者	学校は、子どもの悩みやトラブルを未然に防止するために取り組んでいる。	3. 1	○
	児童	悩みやトラブルがあったときには、先生に相談することができた。	3. 0	△
児童で「△」の判定になりました。児童の回答を分析してみると、相談できなかったと回答した児童が複数いました。本校では2学期に教育相談で、担任と1対1で相談する機会があります。そこに追加して、児童が担任と相談したのち、希望制で他の学級担任をもっていない教師と相談できる機会を設けようと検討中です。なお、担任以外が相談した内容は、担任に必ず伝えるという形式で行うことを考えています。また、教育相談の機会にこだわらず、どの教職員に相談しても大丈夫ということをお子さんたちには伝えていきます。				
⑫	教職員	子どものトラブルが起こった際、子どもの指導、再発防止、保護者連絡などに適切に対応した。	3. 4	◎
	保護者	学校は、子どもの悩みやトラブルがあったときに適切に対応している。	3. 2	◎
教職員・保護者ともに「◎」の判定になりました。トラブルが起こった際には、できるだけ迅速に保護者の方へお伝えするように心がけてまいります。また、お子さんのことでご心配事ありましたら、早めにご相談いただけると、大変助かります。				
⑬	教職員	施設や設備を子どもの学習環境として適切に整えた。	3. 1	○
	保護者	学校は、施設や設備を子どもの学習環境として適切に整えている。	3. 4	◎
保護者で「◎」の判定になりました。本校では、月に一回、安全点検を実施しています。また、不備を発見した際には、迅速に対応するようにしています。				

⑭	教職員	学校の運営方針や子どもの活動の様子などを、家庭や地域に分かりやすく伝えた。	3. 2	◎
	保護者	学校の運営方針や子どもの活動の様子などを、家庭や地域に分かりやすく伝えている。(懇談会・ホームページ・きずなネットでの学校だより、学年だよりの配信など)	3. 5	◎
教職員、保護者両方で「◎」の判定となりました。また、保護者の方の平均点が上昇しました。これは、本年度から学年だよりを廃止し、学校だよりにより一本化し、さらに、児童の様子を全学年分載せています。また、2か月分の予定を掲載することにしました。昨年度と比べて、学校の様子が伝わったという評価が特に保護者の方からの評価が高くなったと考えます。				
⑮	教職員	学校は、学校での子どもの様子が分かるように、授業参観、行事、個人懇談などを行っていると思う。	3. 5	◎
	保護者	学校は、学校での子どもの様子が分かるように、授業参観、行事、個人懇談などを行っている。	3. 7	◎
教職員、保護者両方で「◎」の判定となりました。また、教職員、保護者共に平均点は向上し、保護者に関しては大きく向上しています。昨年度の実施回数から1回授業参観を増加させ、児童の様子を見る機会が増加しました。また、一部の学年では町探検にボランティアで保護者の方に見守りをお願いしました。それらのことで保護者の方からの評価が高くなったと考えます。授業参観の回数に関しては、今年度程度を保っていきたいと考えます。				

その他の項目（こちらは保護者、児童にアンケートは取っていません）

⑯	教職員	給食徴収簿や学年会計簿など、学校徴収金マニュアルに則って、学校徴収金の処理を適切に行った。	3. 4	◎
	教職員で「◎」の判定となりましたが、点数は昨年度より低下しました。本校は会計を、学年担任、事務職員、給食会計担当教員、会計担当教員、教頭、校長と非常に多くの目で、何重にもチェックを行っています。また、ICTを使用し、計算間違い、ヒューマンエラーも防いでいます。仮に不備があった場合にも、迅速に対応できるように心がけています。点数が低下したのは、複数チェックの体制でミスを指摘された職員の評価が低下したためだと考えています。			
⑰ ⑱	教職員	当日の業務を、見通しをもって進めることや、勤務時間外在校時間の月や年間時数を意識して、見通しをもって計画的に業務を進めることができた。	3. 1	○
	教職員で「○」になり、昨年度より低下しました。昨年度もお伝えしましたが、教職員の心身の健康はお子さんへの教育効果へ直接つながります。例えば担任が睡眠不足や体調不良の場合、十分にお子さんを教育することができません。その観点からも、教職員のワークライフバランスは重要です。また、教職員は業務改善で空いた時間を個々の研修に充てることも多くあります。新しい教育課題に対応するためには、教職員が学ぶ時間も必要です。そのため学校から、保護者の方へ様々なお願いをしております。電話対応時間の設定、きずなネットでの欠席連絡もその一環です。 教職員の心身の健康が、お子さんに対する教育効果も大きくなることをご理解していただき、ご協力ください。			